

岩手県立大学盛岡短期大学部アドミッション・ポリシー（入学者受入方針）

■求める学生像

岩手県立大学盛岡短期大学部では、ディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与の方針）およびカリキュラム・ポリシー（教育課程編成の方針）に定める教育を受けるに当たって、次に示すような知識・技能や能力、目的意識・意欲を備えた人を求めます。

- (1) 岩手県立大学盛岡短期大学部の「建学の理念」と「大学の基本的方向」並びに志望学科・専攻のディプロマ・ポリシーおよびカリキュラム・ポリシーに共感する人
- (2) 深い知性と豊かな感性を備え、高度な専門性を身につけようとする自律的な人
- (3) 入学までの学修によって基礎的な知識・技能と、思考力・判断力・表現力を身に付けている人
- (4) 多様な人々と協働しながら知識・技能を活用して主体的に学び続ける意欲がある人
- (5) 自己成長と社会貢献を目指す人

■入学者選抜の基本的な考え方

岩手県立大学盛岡短期大学部では、「求める学生像」に合致する学生を選抜するために、次の考え方に基づく入学者選抜を行います。

- (1) 入学者選抜は、岩手県立大学盛岡短期大学部の建学の理念や各学科の教育目標、特色、専門分野等の特性に相応しい入学者を見出すという観点から行います。
- (2) 学力検査のみに偏ることなく、入学志願者の個性や資質、意欲等多様な潜在能力にも配慮しながら、多様な選抜区分と選抜方法を採用します。
- (3) 学力検査においては、暗記型の知識だけを問うのではなく、思考力、判断力、表現力、主体性、協働性、論理性などを見る試験を目指します。

■建学の理念

「自然」、「科学」、「人間」が調和した新たな時代を創造することを願い、人間性豊かな社会の形成に寄与する、深い知性と豊かな感性を備え、高度な専門性を身につけた自律的な人間を育成する大学を目指します。

■大学の基本的方向

- ・豊かな教養の修得と人間尊重の精神の涵養
- ・学際的領域を重視した特色ある教育・研究
- ・実学・実践重視の教育・研究
- ・地域社会への貢献
- ・国際社会への貢献

生活科学科生活デザイン専攻アドミッション・ポリシー

1 求める学生像

生活科学科生活デザイン専攻では、ディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与の方針）およびカリキュラム・ポリシー（教育課程編成の方針）に定める教育を受けるに当たって、次に示すような知識・技能や能力、目的意識・意欲を備えた人を求めます。

- (1) 住居と衣服に関する科学の基礎から応用までを、文理融合の視点を交えて、体系的に理解することができる人
- (2) 地域社会に目を向け、豊かな生活を自らつくりだすことを目指して、住居と衣服を中心とした幅広い分野に関心をもつ人

2 選抜の基本方針

生活科学科生活デザイン専攻では、「求める学生像」に合致する学生を選抜するために、次の考え方に基づく入学者選抜を行います。

それぞれの選抜区分において重視する学力の 3 要素を以下に記します。重視する度合いが高い順に○、△となっています。

選抜方法と学力の 3 要素との対応				
選抜区分	選抜方法	知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度
一般入試	センター試験	○		
	小論文		○	
	調査書			△
推薦入試	調査書	△		△
	小論文		○	
	面接			○
震災特別推薦入試	調査書	△		△
	小論文		○	
	面接			○
社会人入試	小論文		○	
	面接	○		○

生活科学科食物栄養学専攻アドミッション・ポリシー

1 求める学生像

生活科学科食物栄養学専攻では、ディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与の方針）およびカリキュラム・ポリシー（教育課程編成の方針）に定める教育を受けるに当たって、次に示すような知識・技能や能力、目的意識・意欲を備えた人を求めます。

- (1) 食に関する科学の基礎から応用までを体系的に理解することができる人
- (2) 栄養士として食生活を支える知識と技術の習得を目指し、科学的思考や実践に対応していける人

2 選抜の基本方針

生活科学科食物栄養学専攻では、「求める学生像」に合致する学生を選抜するために、次の考え方に基づく入学者選抜を行います。

それぞれの選抜区分において重視する学力の3要素を以下に記します。重視する度合いが高い順に○、△となっています。

選抜方法と学力の3要素との対応				
選抜区分	選抜方法	知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度
一般入試	センター試験	○		
	小論文	○	○	
	調査書			△
推薦入試	調査書	○	○	○
	小論文	○	○	
	面接	○	○	○
震災特別推薦入試	調査書	○	○	○
	小論文	○	○	
	面接	○	○	○
社会人入試	小論文	○	○	
	面接	○	○	○

国際文化学科アドミッション・ポリシー

1 求める学生像

国際文化学科では、ディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与の方針）およびカリキュラム・ポリシー（教育課程編成の方針）に定める教育を受けるに当たって、次に示すような知識・技能や能力、目的意識・意欲を備えた人を求めます。

- (1) 西洋・アジアおよび日本の多様な文化や交流の歴史に関心をもち、それらについて基礎的な知識を有している人
- (2) 自らが生活する地域とそれが持つ文化の諸相に関心をもち、それらについて基礎的な知識を有している人
- (3) さらなる探究心をもち、社会に積極的に寄与する意欲をもっている人
- (4) 基本的コミュニケーション能力を身につけ、ものごとに主体的に取り組むことができる人

2 選抜の基本方針

国際文化学科では、「求める学生像」に合致する学生を選抜するために、次の考え方に基づく入学者選抜を行います。

(1) 一般入試

- ・ 資料を読解し、課題に関わる議論を適切な日本語で書くことができる。
- ・ 国語（古典を含む）、英語（リスニングを含む）を理解し、一定の学力を有している。
- ・ 歴史・文化・社会に関心をもち、一定の学力を有している。

(2) 推薦入試（一般）、帰国子女入試、私費外国人入試、震災特別入試

- ・ 資料を読解し、課題に関わる議論を適切な日本語で書くことができる。
- ・ 志望動機、意欲や体験、思考等を、説得力をもって伝えることができる。また、初歩的な英会話能力を有している。
- ・ 高校での学習内容を一定以上修得していると同時に、学習以外の活動にも積極的に取り組んでいる。

(3) 推薦入試（特別）

- ・ 資料を読解し、課題に関わる議論を適切な日本語で書くことができる。
- ・ 志望動機、意欲や体験、思考等を、説得力をもって伝えることができる。また、初歩的な英会話能力を有している。
- ・ 外国語の習得等、意欲的に特定の技能の向上を果たしている。

(4) 社会人入試

- ・ 資料を読解し、課題に関わる議論を適切な日本語で書くことができる。
- ・ 志望動機、意欲や体験、思考等を、説得力をもって伝えることができる。また、初歩的ないし一般的な英会話能力を有している。
- ・ 高校卒業程度の学力を有しており、就業経験（家事を含む。）も積んできた。

それぞれの選抜区分において重視する学力の 3 要素を以下に記します。重視する度合いが高い順に○、△となっています。

選抜方法と学力の 3 要素との対応				
選抜区分	選抜方法	知識・ 技能	思考力・ 判断力・表現力	主体性を持って多 様な人々と協働し て学ぶ態度
一般入試	センター試験	○		
	小論文		○	△
推薦入試(一般)	小論文		○	
	面接	○		○
	調査書	○		○
推薦入試(特別)	小論文		○	
	面接	○		○
	調査書	○		○
震災特別入試	小論文		○	
	面接	○		○
	調査書	○		○
社会人入試	小論文		○	
	面接	△		○
帰国子女入試 私費外国人留学生入試	小論文		○	
	面接	○		○